

# 令和元年度 進路だより

## わくわくワーク 第3号

令和元年9月27日  
富山県立しらとり支援学校  
進路支援部

秋分も過ぎ、心なしか日の入りも早まったように感じる季節となりました。今回は、7月と8月に行われた本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

### 「高等部1・2年進路説明会」(7月17日(水)開催)

進路説明会には、30名の保護者の参加がありました。はじめに6月に行った第1回就業体験の様子を映像で見た後、事業所から評価された点や今後の課題について説明をしました。卒業後の進路に関する情報や卒業までの流れについて説明するとともに、家庭での手伝いの推奨やいろいろな事業所の情報収集をお願いしました。説明会の最後には、障害者年金や療育手帳について簡単な情報を伝えたり、職場見学についての質問に答えたりしました。参加者からは「卒業までの流れが良く分かった。子供のためにできることを頑張っていきたい。」「就業体験の様子を見ることができて良かった。」などのご意見やご感想をいただきました。

#### 就業体験評価表より 今後の課題(抜粋)

- ・色々な人とコミュニケーションがとれるとよい。(A型)
- ・集中力が持続しない。(B型)
- ・年上の人への言葉遣いがなれなくなる。(A型B型)
- ・終わったときや困ったときに声を掛けられるとよい。(B型)
- ・休憩の過ごし方が身につくとよい。(B型)
- ・素直に聞くことを身に付けてほしい。(B型)
- ・自分の思いを相手に伝えられるとよい。(生活)
- ・生活リズムの安定が保てるとよい。(生活)
- ・時間の制約がある中で柔軟な対応ができるとよい。(企業)

#### 就業体験評価表より 評価できる点(抜粋)

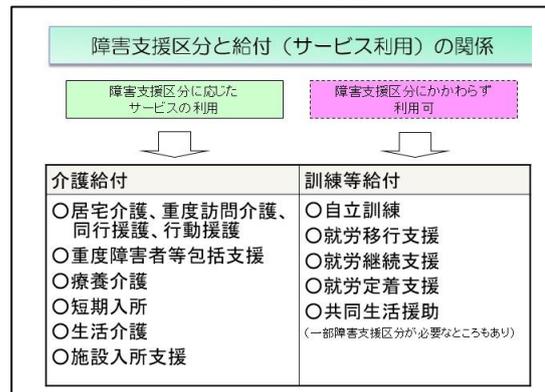
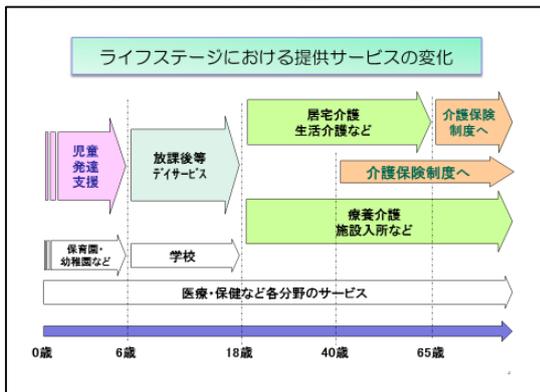
- ・作業の正確性、丁寧さもあり、速度も気にならない。(A型)
- ・作業を持続して行うことができた。(B型)
- ・順番を待ったり、言葉掛けに笑顔を見せたりしていた。(B型)
- ・落ち着いて過ごすことができた。(生活)
- ・毎日笑顔を絶やさず、何事に対しても一生懸命できた。(企業)
- ・言われたことをちゃんとこなせた。(企業)

### 「高等部3年進路学習会」(8月1日(木)開催)

富山市福祉保健部障害福祉課の佐藤功幸さんを講師に迎え、高等部3年生の保護者を対象にした進路学習会を行い、23名の参加がありました。

「障害福祉サービスについて」「卒業後利用できるサービスについて」「障害サービスを受けるまで」「障害基礎年金について」という内容で、卒業前の手続きの流れや卒業後に受けられるサービスなどについて教えていただきました。

進路先によって手続きの時期や方法が異なることや、卒業後受けられるサービスとそのため必要な手続きなどについて丁寧に説明していただきました。卒業までの準備の流れを知り、卒業後の生活に必要なことを考えるよい機会となりました。



## 「第1回インターンシップ推進委員会」(8月28日(水)開催)

インターンシップ推進委員会は、児童生徒一人一人に応じたよりよい進路支援ができるように、企業や福祉関係者などの外部委員5名を交えて意見交換を行う委員会で、年2回開催されます。

第1回の委員会では、学校から昨年度の卒業生の進路先やアフターケアの状況、在校生の第1回就業体験の評価と課題を報告をした後、卒業後の進路選択や就労に向けた準備などについての意見交換が行われました。

各委員のご意見を一部紹介します。

- ・企業就労では挨拶ができること・身だしなみが整っていることは基本で、さらにどうしたら時間内に仕事を終われるかなど時間を意識する力が重要視される。挨拶やコミュニケーションを交わす際には「笑顔で」という点も重要視される。
- ・「働く」ということだけでなく、生活全般が豊かでないと笑顔にはなれない。余暇の活動も充実していく必要がある。
- ・仕事を長く続けることは大変難しい。リタイアすることもあるので、支援をしてもらえるところとつながっておくことが大事である。
- ・進路決定をする際は本人の希望を受け入れながら、自己決定していけるような支援をしていくことが大事である。
- ・就業体験や卒業後、事業所や企業に受け入れていただくときに、よいことばかりを伝えるのではなくマイナス面も伝え、そのときはどんな支援をしたらよいかを伝えておくことが大事である。
- ・問題を抱えていると働く意欲の低下につながるので、できる限り福祉サービスを利用して連携できるようにしておくことが大事である。併せて自己肯定感を高めたり、余暇を充実したりすることも大切である。

外部委員の方々からの意見を受けて、子供たちと関わる者が笑顔で接することや、適性や希望に添った進路選択や体験を積み重ね、自己肯定感を高めていくこと、相談できる場所や人とつながっておくこと、余暇の充実が卒業後の生活を豊かにすることなど、進路支援や学校生活、家庭生活で大切なことについて改めて考えることができました。

1月末に開催予定の第2回インターンシップ推進委員会は、保護者の方も参加できます。ご都合のつかれる方は是非参加していただき、外部委員のご意見や本校の進路支援の取組について聞いていただきたいと思います。

